

帰りたいのに 帰れない…!

スタンドアップパドルボード

SUPは 自然が相手です。

事故発生!!

令和4年10月13日、沖縄県において、サンセットSUPツアーを楽しんでいた女性が強風に煽られて約40km沖合まで流され一時行方不明となり、約14時間後に救助されるという事故が発生しました。

事故当時、現場海域には強風・波浪注意報が発表されており、沖合に流された女性は連絡手段(携帯電話等)を所持していなかったとのこと。

今回の事故はツアー中の事故であるものの、SUPは個人でも気軽に楽しめるレジャーとして人気が高く、第四管区海上保安本部管内でもSUPで漂流してしまう事故が発生しています。

SUPを安全に楽しむために

- ◎ライフジャケットの着用
- ◎リーシュコードの装着



- ◎連絡手段の確保
(防水パック入り携帯電話)

もしものときは
118番を!



- ◎天気予報の確認



ウォーターセーフティガイド (SUP編)

事故防止のための情報
(ウォーターセーフティガイド)
を発信する総合安全情報サイト



Water Safety Guide

ウォーターセーフティガイド

検索

発行: 小型船舶の事故防止に係る関係機関連絡会

(事務局): 海上保安庁
第四管区海上保安本部

ウォーターセーフティガイド

Water Safety Guide

海上保安庁



海の安全情報スマートフォン用サイト
(こちらから登録してください)

海の安全情報
Maritime Information and Communication System



SUPを安全に楽しむために

ライフジャケット

パドル

リーシュコード

フロート

笛

携帯電話
(防水)

風の影響による

遭難が多発しています！

穏やかな水面で

楽しみましょう！

(一社)日本サップヨガ協会
理事長 田中 律子

安全推進団体で必要な知識・技能を身につけよう！

S U P 安全推進宣言

私たちは、SUPの事故ゼロを目指し
必要な安全対策を実施しています。



Water Safety Guide

S U P 安全推進プロジェクト Since March 15th, 2022

安全推進団体：(一社)日本SUP指導者協会、日本SUP振興会、(一社)日本サップヨガ協会、(一社)日本スタンドアップパドルボード協会、
(五十音順) (一社)日本セーフティパドルリング協会、日本レクリエーションカヌー協会、Paddler Japan
関係省庁及び団体：海上保安庁、スポーツ庁、水産庁、国土交通省、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会

○経験年数3年未満、風速5m/s以上、波高0.5m以上で遭難に至る可能性が高くなっています！



天気予報をチェックしよう。

○状況(季節や水温)に応じて、適切な装備を選びましょう。

SUPの基本4点セット

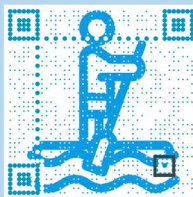


ライフジャケット

体型に合ったサイズを選ぶ。チャック、バックル、ベルトをしっかり締めよう。周囲の船や陸から見つけやすい目立つ色(黄、オレンジ等)を着用しよう。

周囲への注意喚起手段

詳しくはコチラ



Water Safety Guide

適切な長さにしよう。



パドル

濡れても使える緊急連絡手段



携帯電話(防水)

ボードと離れないための必需品



リーシュコード

体の保温・保護等



マリンシューズ



ウェットスーツ

熱中症、紫外線等防止対策



帽子

水分補給を忘れずに



サングラス



水筒

○インフレーター(膨張式)SUPボードの注意点

- ▶ 適正な空気圧にしましょう。
- ▶ エア漏れがないかチェックしましょう。



※安全推進団体のHPは、下記のQRコードから確認できます。



日本SUP指導者協会



日本SUP振興会



日本サップヨガ協会



日本スタンドアップパドルボード協会



日本セーフティーパドリング協会



日本レクリエーションルカヌー協会



Paddler Japan